

3つの署名を訴える

社会保障の拡充求め月例宣伝

1月14日、巣鴨駅頭で月例の社会保障の拡充を求める宣伝・署名行動を東京社会保障推進協議会、東京地方労働組合評議会などの団体が行ないました。東京土建からの参加者は14人でした。



巣鴨駅頭では68筆の署名が集まりました

寒風の吹きすさぶなかでしたが、参加者は通行人にティッシュを渡しながら、「安全・安心の医療、介護、福祉を実現し、国民のいのちと健康を守るための署名」「75歳以上の窓口医療費負担2倍化を中止させる署名」「都立・公社病院の地方独立行政法人化の中止を求める署名」への協力を呼びかけました。また、年金者組合の行動参加者は「安心の年金制度を」と書かれたチラシを配布しました。

参加した各団体からスピーチを行ない、東京土建からは末浪明子本部書記が「コロナの新規感染者が増加しています。これまでの感染拡大の状況から十分な入院ベッド数の確保が求められているにもかかわらず、国や都は公立、公

民、私立の病院の統廃合を打ち出しています。安心して生活できる社会保険制度の充実を求めます。コロナ禍での建設労働者の実態などを話しました。

墨田 リーサルに倒壊家屋模型 消防出初式に協力



倒壊家屋模型を準備するハンマーズのメンバー

【墨田・書記・三上竜起通信員】1年間で有数の特大防災イベントの一つ、東京消防庁による「令和4年東京消防出初式」が、1月6日に東京ビックサイトで開催されまし

また、民事裁判では極めて異例となる取調書の開示が実現しました。これは裁判の合議体（加本牧子裁判長、岩田真吾右陪席、矢崎達彦左陪席）後に指掌紋だけでなくDNA

品川 中野さん不当取調事件 結審、3月10日判決

【杉並・書記・喜多正之通信員】2019年2月4日に中野健太郎さん（品川）は作業を終えて車で休んでいた時に職務質問を受け、車に積んでいた工具を凶器として犯罪者扱いの不当な取り調べを深夜に長時間に渡り受け、中野警察署を管轄す

の理解も大きいです。開示された調書には、印字されている中に「文字だけ自然な手書きがあり修正液等を使用した形跡と考えられ、さらに中野さんが印字から除

加えて、取り調べの責任者を自称する豊岡警部補は謝罪するどころか「最後まで本当のことをいってくれなかった」と今でも中野さんに嫌疑を抱いているとの発言。警察

第56回 主婦の会総会告示

東京土建本部主婦の会は、第56回総会を、規約第7条に基づき、次のように告示します。

日時 2022年2月19日(土) 午前10時開会

会場 けんせつプラザ東京並びに各支部会場

参加対象 本部主婦の会役員。総会の代議員は各支部の160人に1人の割合で選出。(最低2人を基礎保障とします)

東京土建一般労働組合主婦の会 会長 塩野 操

第65回 青年部大会告示

東京土建一般労働組合青年部第65回定期大会を規約第14条に基づき、下記の日程で開催します。

日時 2022年2月27日(日) 午前10時開会

会場 けんせつプラザ東京・各支部Web会場

代議員 本部役員、本部執行委員、基礎代議員、比例定数代議員

*代議員数は2022年1月1日登録人員に基づき、本部執行委員会で確認します。

東京土建一般労働組合青年部 部長 五本木 宏晃

内閣、首相は改憲前のめり

対抗は市民の運動で

12月16日に行なわれ、模型の組み立て、設置、切断された側面の本番用補修などのため、ハンマーズメンバーの林幸樹さん、竹内眞一さん、墨田支部の書記3人の計5人で参加しました。昨年は無観客で開催された出初式ですが、本来は例年満員御礼の人気イベント。しかしこの日はリーサルであるため、関係者のみの参加。内容は本番と全く同じであったため、すぐ目の前では音楽隊、行進、訓練、一斉放水など、圧巻の景色。筆者は準備兼撮影で同行したのですが、息をのむような光景を間近で見られたことは、ハンマーズの日の活動が認められたおかげであり、大変うれしい想いです。

組織を守りたい一心でこのにもうかがえましたが、間違ったら謝る、当たり前のことができる存在であってほしいものです。建設業者を狙い撃ちにした職務質問を許さず、警察の姿勢をたたきたいと提訴した中野さんに結審を迎えての心境を聞くと「判決がどうなるかわかりませんが、職務質問と不当な取り調べの実態を共有できた。毎回傍聴に来てくれた仲間感謝します。ぜひ東京土建をもっとのびたい」と語りました。



市民のスピーチに聞き入る集会参加者

1月19日、国会議員会館前で76回目となる月例の総会が行なわれ、600人の市民（東京土建は39人）が主催者を代表して小田川義

の市民（東京土建は39人）が主催者を代表して小田川義を合わせたことなどを中心に訴えました。



東京地裁前で品川支部の仲間らと共に。右から5人目が中野さん（2020年9月24日）

【杉並・書記・喜多正之通信員】2019年2月4日に中野健太郎さん（品川）は作業を終えて車で休んでいた時に職務質問を受け、車に積んでいた工具を凶器として犯罪者扱いの不当な取り調べを深夜に長時間に渡り受け、中野警察署を管轄す

から未明まで長時間拘束して取り調べたことや、凶器とされたガラスクラッシュヤーの所持に違法性はないことは双方が認めてはつきりしました。